

DCダイワ・マネー・ ポートフォリオ

運用報告書(全体版) 第4期

(決算日 2020年3月31日)

(作成対象期間 2019年4月2日～2020年3月31日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、わが国の公社債を中心に投資し、安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券		
信託期間	無期限		
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	イ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券 ロ. わが国の公社債	
	ダイワ・マネー・マザーファンド	本邦通貨表示の公社債	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率		無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率		純資産総額の30%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、配当等収益等を中心に分配します。ただし、配当等収益等の額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

設定以来の運用実績

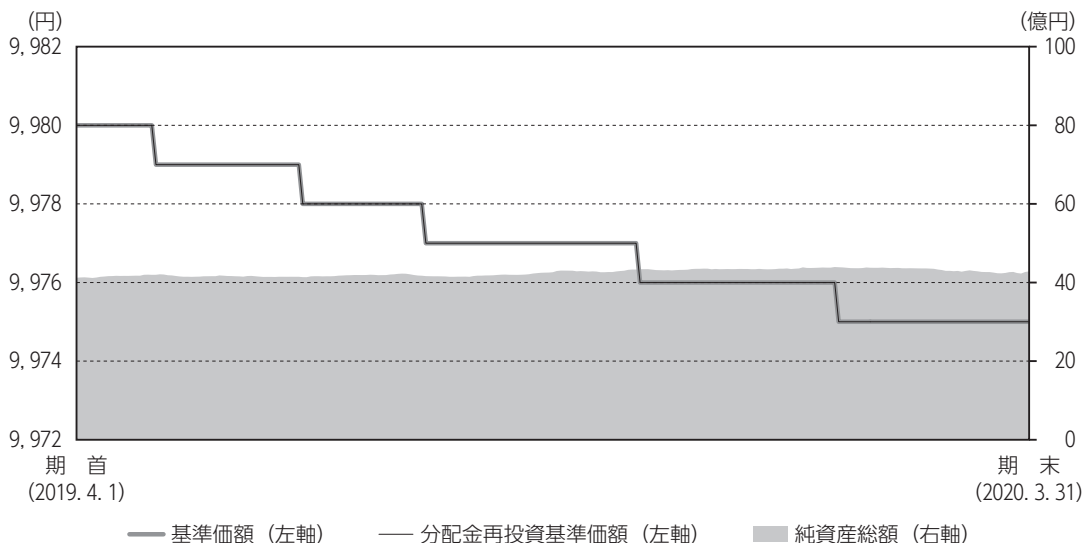
決 算 期	基 準 価 額			公 社 債 組 入 比 率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 中 率		
	円	円	%	%	百万円
1 期末 (2017年 3 月31日)	9,995	0	△ 0.1	—	3,924
2 期末 (2018年 4 月 2 日)	9,988	0	△ 0.1	—	3,929
3 期末 (2019年 4 月 1 日)	9,980	0	△ 0.1	—	4,120
4 期末 (2020年 3 月31日)	9,975	0	△ 0.1	—	4,283

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注 2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
(注 3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注 4) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期 首：9,980円

期 末：9,975円（分配金 0 円）

騰落率：△0.1%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

「ダイワ・マネー・マザーファンド」の受益証券を通じて投資したコール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

DCダイワ・マネー・ポートフォリオ

年 月 日	基 準	価 額		公社債組入比率
		騰	落 率	
	円		%	%
(期首) 2019年 4 月 1 日	9, 980	—	—	—
4 月末	9, 980	0. 0	—	—
5 月末	9, 979	△	0. 0	—
6 月末	9, 978	△	0. 0	—
7 月末	9, 978	△	0. 0	—
8 月末	9, 977	△	0. 0	—
9 月末	9, 977	△	0. 0	—
10 月末	9, 977	△	0. 0	—
11 月末	9, 976	△	0. 0	—
12 月末	9, 976	△	0. 0	—
2020年 1 月末	9, 975	△	0. 1	—
2 月末	9, 975	△	0. 1	—
(期末) 2020年 3 月31日	9, 975	△	0. 1	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019. 4. 2 ~ 2020. 3. 31)

国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3 カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンド

「ダイワ・マネー・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性及び資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2019. 4. 2 ~ 2020. 3. 31)

当ファンド

「ダイワ・マネー・マザーファンド」の受益証券へ投資を行いました。

ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、分配対象額が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2019年4月2日 ～2020年3月31日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	—

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ・マネー・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

上記の運用方針により、マイナス利回りの短期の国債やコール・ローン等にも投資する場合があります。

今後も現在の低金利環境が継続した場合は、ファンド全体の損益がマイナスとなり、基準価額が下落することが予想されます。投資家のみなさまにおかれましては、ご留意くださいますようお願い申し上げます。

1万口当りの費用の明細

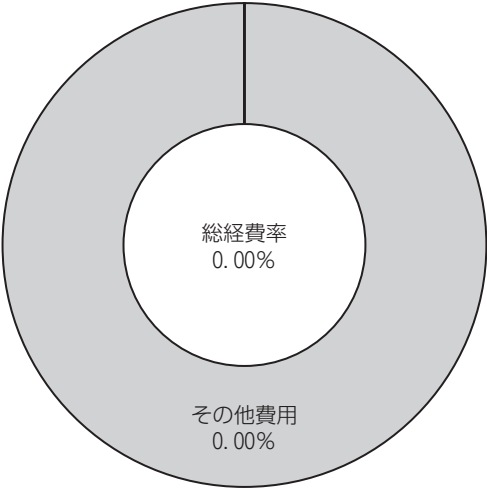
項 目	当 期 (2019. 4. 2～2020. 3. 31)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	—円	—％	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,977円です。
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.001	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	0	0.001	

- (注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
- (注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
- (注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。
- (注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.00%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2019年4月2日から2020年3月31日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	859,779	874,831	698,583	710,784

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	4,028,454	4,189,650	4,262,131

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年3月31日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・マネー・マザーファンド	4,262,131	99.0
コール・ローン等、その他	44,570	1.0
投資信託財産総額	4,306,702	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年3月31日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	4,306,702,302円
コール・ローン等	44,570,743
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	4,262,131,559
(B) 負債	23,153,086
未払解約金	23,139,046
未払信託報酬	2,292
その他未払費用	11,748
(C) 純資産総額 (A－B)	4,283,549,216
元本	4,294,155,055
次期繰越損益金	△ 10,605,839
(D) 受益権総口数	4,294,155,055口
1万口当り基準価額 (C／D)	9,975円

* 期首における元本額は4,128,899,930円、当作成期間中における追加設定元本額は1,676,624,811円、同解約元本額は1,511,369,686円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,975円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は10,605,839円です。

■損益の状況

当期 自 2019年4月2日 至 2020年3月31日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 12,293円
受取利息	3,053
支払利息	△ 15,346
(B) 有価証券売買損益	△ 1,586,871
売買益	418,825
売買損	△ 2,005,696
(C) 信託報酬等	△ 27,848
(D) 当期損益金 (A＋B＋C)	△ 1,627,012
(E) 前期繰越損益金	△ 3,123,712
(F) 追加信託差損益金	△ 5,855,115
(配当等相当額)	(△ 447,837)
(売買損益相当額)	(△ 5,407,278)
(G) 合計 (D＋E＋F)	△ 10,605,839
次期繰越損益金 (G)	△ 10,605,839
追加信託差損益金	△ 5,855,115
(配当等相当額)	(△ 447,837)
(売買損益相当額)	(△ 5,407,278)
繰越損益金	△ 4,750,724

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	0
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）	0
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）	0
(h) 受益権総口数	4, 294, 155, 055口

《お知らせ》
■商号変更について
大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

<補足情報>

当ファンド（DCダイワ・マネー・ポートフォリオ）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2019年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2020年3月31日）現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄

2019年4月2日～2020年3月31日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

下記は、2020年3月31日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（59,698,445千口）の内容です。

国内その他有価証券

	2020年3月31日現在	
	評 価 額	比 率
	千円	%
国内短期社債等	999,996	<1.6>

（注1）< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

（注2）評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第15期（決算日 2019年12月9日）

（作成対象期間 2018年12月11日～2019年12月9日）

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

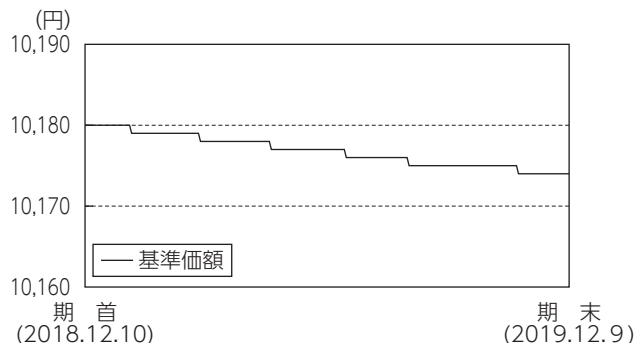
運 用 方 針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主 要 投 資 対 象	本邦通貨表示の公社債
株 式 組 入 制 限	純資産総額の30%以下

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2018年12月10日	円	%	%
12月末	10,180	0.0	—
2019年1月末	10,179	△0.0	—
2月末	10,179	△0.0	—
3月末	10,178	△0.0	—
4月末	10,178	△0.0	—
5月末	10,177	△0.0	—
6月末	10,176	△0.0	—
7月末	10,176	△0.0	—
8月末	10,175	△0.0	—
9月末	10,175	△0.0	—
10月末	10,175	△0.0	—
11月末	10,174	△0.1	—
(期末)2019年12月9日	10,174	△0.1	—

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,180円 期末：10,174円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

短期の国債やコール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1) 公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

国 内	国債証券	買 付 額	売 付 額
		千円	千円
		350,004	— (350,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

(2) その他有価証券

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

国 内	国内短期社債等	買 付 額	売 付 額
		千円	千円
		238,999,542	238,999,547 (—)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は償還による減少分、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

当 期			期		
買 付		金 額	売 付		金 額
銘	柄		銘	柄	
		千円			千円
801 国庫短期証券 2019/3/18		350,004			

(注1) 金額は受渡し代金 (経過利子分は含まれておりません)。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
国内その他有価証券

	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
国内短期社債等	999,997	<1.2>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	83,690,918	100.0
投資信託財産総額	83,690,918	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	83,690,918,350円
コール・ローン等	82,690,920,679
現先取引(その他有価証券)	999,997,671
(B) 負債	51,646
その他未払費用	51,646
(C) 純資産総額(A－B)	83,690,866,704
元本	82,259,129,638
次期繰越損益金	1,431,737,066
(D) 受益権総口数	82,259,129,638口
1万口当り基準価額(C／D)	10,174円

* 期首における元本額は78,610,288,449円、当作成期間中における追加設定元本額は112,484,550,034円、同解約元本額は108,835,708,845円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ日経225－シフト11－ 2019－03 (適格機関投資家専用) 1,850,319,411円、ダイワ・グローバル I o T 関連株ファンド－A I 新時代－ (為替ヘッジあり) 977,694円、ダイワ・グローバル I o T 関連株ファンド－A I 新時代－ (為替ヘッジなし) 977,694円、ダイワ F E グローバル・バリュー (為替ヘッジあり) 9,608円、ダイワ F E グローバル・バリュー (為替ヘッジなし) 9,608円、NWQ グローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり) 49,107円、NWQ グローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし) 49,107円、ダイワ／“R I C I”[®] コモディティ・ファンド5,024,392円、U S 債券 N B 戦略ファンド (為替ヘッジあり)／年1回決算型) 1,676円、U S 債券 N B 戦略ファンド (為替ヘッジなし／年1回決算型) 1,330円、N B ストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>

米ドルコース981円、N B ストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>円コース981円、N B ストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>世界通貨分散コース981円、NWQ グローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり／隔月分配型) 180,729円、NWQ グローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし／隔月分配型) 737,649円、NWQ グローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり／資産成長型) 95,276円、NWQ グローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし／資産成長型) 337,885円、世界セレクトティブ株式オープン983円、D C ダイワ・マネー・ポートフォリオ4,249,607,706円、ダイワファンドラップ コモディティセレクト317,107,941円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) トリプルリターンズー 日本円・コース (毎月分配型) 132,757円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) トリプルリターンズー 豪ドル・コース (毎月分配型) 643,132円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) トリプルリターンズー ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 4,401,613円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) トリプルリターンズー 米ドル・コース (毎月分配型) 12,784円、ダイワ／フィデリティ北米株式ファンドーパラダイムシフト－9,853,995円、低リスク型アロケーションファンドⅡ (適格機関投資家専用) 4,212,646,194円、ブルベア・マネー・ポートフォリオ V 32,678,414,397円、ブル3倍日本株ポートフォリオ V 31,868,647,270円、ベア2倍日本株ポートフォリオ V 6,946,381,074円、ダイワ F E グローバル・バリュー株ファンド (ダイワ S M A 専用) 3,666円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 155,317円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型) 38,024円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 米ドル・コース (毎月分配型) 4,380円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 豪ドル・コース (毎月分配型) 22,592円、ダイワ／アムンディ食糧増産関連ファンド 164,735円、ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ 109,485,524円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (資産成長コース) 33,689円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース) 96,254円、ダイワ・インフラビジネス・ファンドーインフラ革命－ (為替ヘッジあり) 5,385円、ダイワ・インフラビジネス・ファンドーインフラ革命－ (為替ヘッジなし) 11,530円、ダイワ米国 M L P ファンド (毎月分配型) 米ドルコース9,817円、ダイワ米国 M L P ファンド (毎月分配型) 日本円コース6,964円、ダイワ米国 M L P ファンド (毎月分配型) 通貨αコース9,479円、ダイワ英国高配当株ツインα (毎月分配型) 98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ980,367円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型) 1,097円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) トルコ・リラ・コース (毎月分配型) 2,690円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,350円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 通貨αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式&通貨ツインαコース982,029円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) トリプルリターンズー通貨セレクト・コース (毎月分配型) 98,174円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,174円です。

■損益の状況

当期 自2018年12月11日 至2019年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 42,819,286円
受取利息	111,756
支払利息	△ 42,931,042
(B) その他費用	△ 2,381,736
(C) 当期損益金(A＋B)	△ 45,201,022
(D) 前期繰越損益金	1,418,229,476
(E) 解約差損益金	△ 1,927,237,136
(F) 追加信託差損益金	1,985,945,748
(G) 合計(C＋D＋E＋F)	1,431,737,066
次期繰越損益金(G)	1,431,737,066

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。